

# 微小肺病変に対する切除支援気管支鏡下肺マッピング（VALMAP）法を用いた 肺縮小手術後の患者における予後調査に関する研究

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

## 1. 研究の対象

2013年1月から2019年3月までに、VALMAP法を実施された患者さまの現在の状態について調査を行います。

2012年～2018年3月までに研究代表者が実施した多施設共同研究（※1）に参加された患者さま  
2016年8月～2017年7月に先進医療B（※2）に参加された患者さま

※1：研究名 「微小肺病変に対するバーチャル気管支鏡ナビゲーションを利用した術前下マキグ」

※2：研究名 「微小肺病変に対する切除支援気管支鏡下マーキング法の非照盲検単群試験 微小肺病変に対する切除支援気管支鏡下マーキング法の非照盲検単群試験」

## 2. 研究の目的・方法

これまでに VALMAP 法を用いた手術を受けられた患者さまのその後の経過（特に局所再発の様子、その他、呼吸の状態など）を調べる事を目的としています。

研究期間：施設院長承認後～2020年9月30日

## 3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

## 4. 研究に用いる情報の種類

個人情報を含まない医学的な情報（実施年月日、再発の有無、現在の健康状態）

## 5. 外部への情報の提供

あなたの情報は、解析する前に氏名、住所、生年月日等の個人情報を削って任意の識別番号を付与することで、どなたのものかわからないようにした上で、代表機関である東京大学医学部附属病院へ提供します。データの授受はセキュリテイの管理されたメール及び研究責任者がパスワードで管理する外部との接続のないパソコンで行い、研究の後はCD/DVDに保管されます。

## 6. 研究組織

【代表機関】 東京都大学医学部附属病院 佐藤雅昭

【共同研究機関】

東京医科歯科大学	小林正嗣
産業医科大学	田中文啓
聖路加国際病院	小島史嗣
新潟大学	小池輝元
順天堂大学	鈴木健司
田附興風会医学研究所北野病院	大竹洋介
相澤病院	三澤賢治
島根県立中央病院	小阪真二
東京女子医科大学八千代医療センター	関根康雄
長良医療センター	藤永卓司
兵庫県立尼崎総合医療センター	阪井宏彰
松江赤十字病院	磯和理貴
国保旭中央病院	桑野秀規
NTT 東日本関東病院	松本順
日本赤十字社医療センター	古畑善章
長崎大学	蒲原涼太郎
京都大学医学部附属病院	陳豊史
湘南鎌倉総合病院	深井 隆太

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

湘南鎌倉総合病院 呼吸器外科 深井 隆太（当院の責任者）

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1

TEL:0467-46-1717

研究代表者：東京大学医学部附属病院 呼吸器外科 佐藤雅昭

(2019年3月13日作成)